



堂々と実習生が研究授業をおこないました

本校に教育実習で来ていた3名の実習生が研究授業を行いました。村上実習生が3年生女子のバレーボール、山地実習生が1年生女子の水泳、宮良実習生が2年4組の保健の授業をそれぞれ行いました。本校体育科には毎年実習生が来ています。いつも感じていることは、今の若い人達は、恥ずかしがることなく、物おじせず、堂々として、大きな声で自信をもって授業を行なっているということです。立派に成長した3人を見て、体育科の先生方も感心しておられました。

研究授業、実習を終えて……

山地実習生: いつもは人から見られていると緊張しますが、今回は緊張せずできました。先生方から頂いたアドバイスを今後生かして行きたいと思います。

村上実習生: 緊張しましたが、先生方のご助言や生徒の皆さんのはつらつとした授業に取り組む姿勢のおかげで、有意義な授業、実習になりました。

宮良実習生: 研究授業は緊張して反省点もありますが、先生方が生徒ひとりひとりを見ながら指導されている姿を見て大変勉強になりました。



～雑感～

今年は、昨年と違い、体育の授業も例年通りのカリキュラムで進んでいます。昨年は、コロナ対策として、ネット型の種目を増やしたり、グラウンドで広いスペースを使った種目を多く取り入れたりしました。今年は、昨年できなかった水泳の授業も行っています。更衣室での密を避けるため、更衣場所が変わり不便をかけていますが、集まりも早く、始業時間と同時に挨拶ではなく、泳ぎ出しています。毎年思うことですが、移動距離の長いプールでの授業なのに、これだけ時間通りに始めることができる学校があるのでしょうか。他の種目でも同じです。時間を守り、集団での行動をみんなが自覚し、アクティブに授業に取り組む。全国体力向上優良校表彰を受けるに値する生徒たちだと思います。



時間を守れぬ人間は何をやっても信用されない。社会は約束事で成立っている。時間を守るということは約束事の第一歩。